

# 議会 とよとみ

豊富町議会広報誌

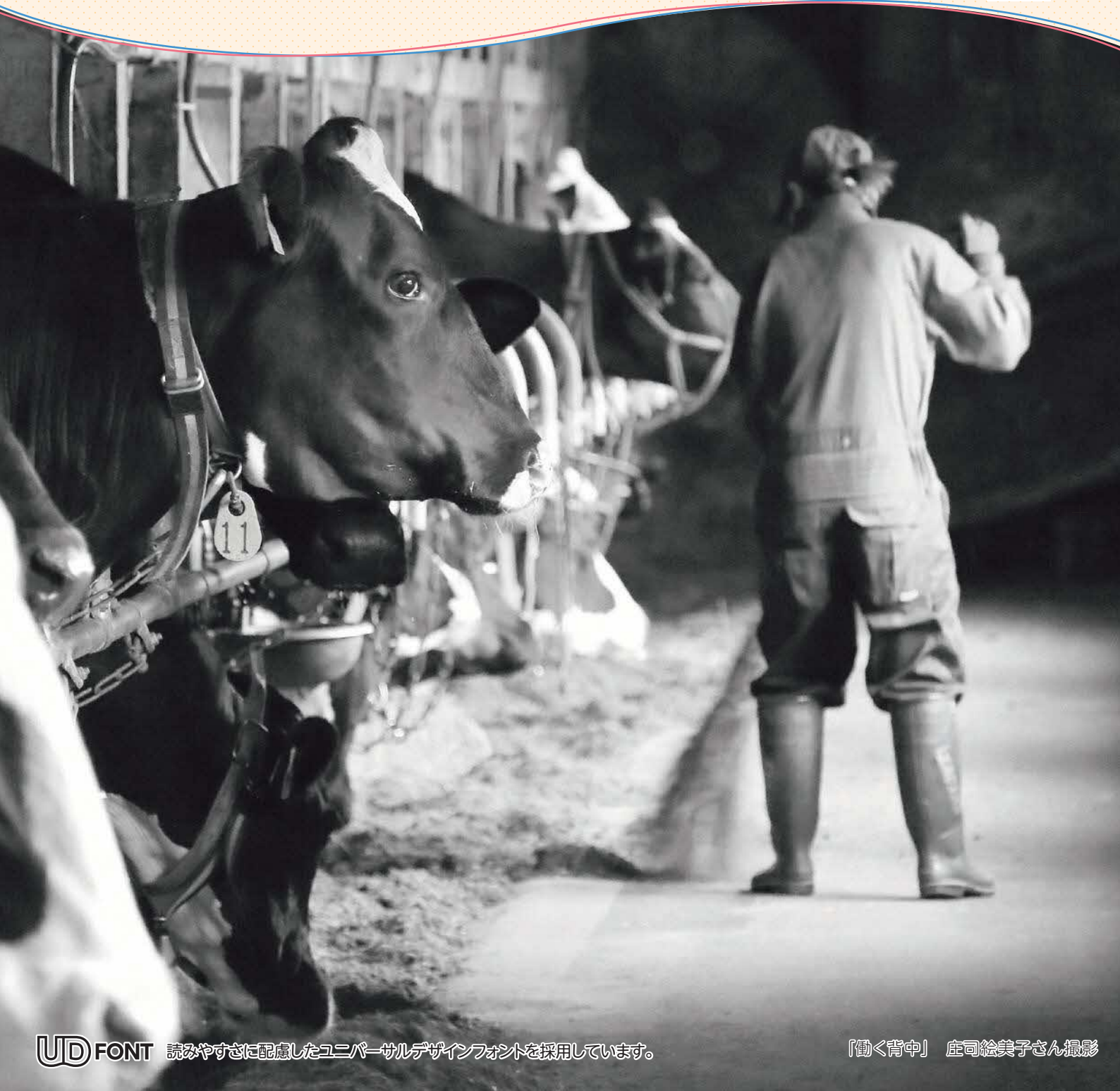
## 9月定例会

[9月8日~10日]

豊富町議会からのお知らせ

元年度決算特集	2
高校生が議会を傍聴しました!	4
一般質問	5
議会在町のことをチェック	8
気になるあの人に聞いてみました!	9
議会レポート	10
高校生の声	16

「議会とよとみ」はスマートフォンでも見られます



# 一般会計は55億円を支出

9月議会では、令和元年度決算を審査し、一般会計ほか8会計を全員賛成で認定しました。一般会計及び特別会計、企業会計の収入合計は86億1,143万円となり、支出合計は77億3,663万円で、差引8億7,480万円となりました。詳しい収支状況や決算額については広報とよみ10月号をご覧ください。 ※金額は万円未満切捨て表記しております。

## 予算決算常任委員長の審査報告

各会計決算については認定すべきものとして決定した次第であります。時代に合った迅速な対応が今後の行政運営とその執行に向けて反映と実現を強く希望するものであります。また、コロナ禍において、雇用や所得環境の悪化など、地方自治体に対する経済環境は、ますます厳しい情勢下にあります。一方で時代に即した新たなニーズへの対応等

も求められております。今後も、税や使用料負担の公平を保ち、適正な財源の確保に努められ、行政の効率的な執行により、健全財政が堅持されますとともに、議会等の対応を密にし、町民の負託に応えるため、より一層の努力を期待するものであります。



## このような事業が行われました

### 特 殊浴槽導入事業

寝たきりや車いす患者の入浴環境の改善を図りました。

1,167万6,000円

### 防 災伝達手段多重化推進事業

各種災害に対応した情報伝達体制の強化や、作成から5年が経過し国等に更新を強く求められているハザードマップの作成を行いました。

390万5,000円

### 商 工業活性化事業補助事業

町内商工業経済の活性化と新規参入事業者の定着を図ることを目的とし、町内で商工業を営む者、新たに営もうとする者に対する経費の一部補助を行いました。

2,542万4,000円

### 豊 富町サロベツ住宅建設促進支援事業

豊富町の気候・風土・特色を活かした魅力ある良質な住宅建設と普及促進により、建設費の支援を行いました。

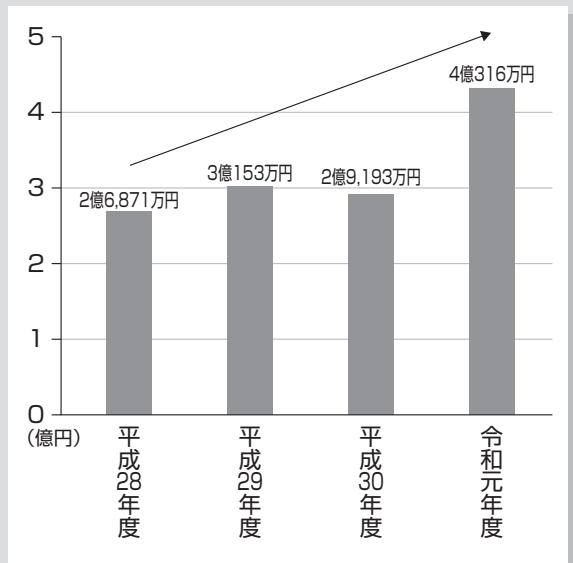
1,200万円



## ふるさとUP 応援寄附金

豊富町では返礼品の人気が高まり、前年と比べて寄附額が大きく伸び、元年度では4億円を突破しました。

寄附額の推移



- ①一般会計及び特別会計、企業会計の歳入歳出決算書等の計数は、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められる。
- ②施設の管理運営方法や事務事業の見直し・節約等により経費の節減はされているが、コロナ禍をはじめ、出口の見えない長引く不況に伴う税収等の伸び悩みや、地方交付税のあり方が不透明であることから、自治体が置かれている現状は引き続き極めて厳しい状況であることを再認識し、町民が安全で安心して暮らせる町づくりのために積極的な対応を望む。





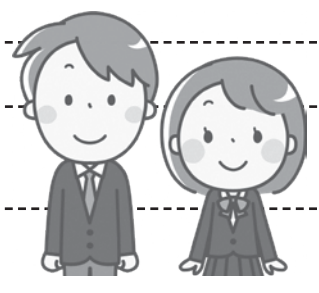
9月8日に豊富高校3年生のビジネスコースの授業の一環として生徒13名が議会傍聴に訪れました。開かれた議会を目指す本町議会にとって、大変喜ばしいことであり、傍聴を通して次世代を担う高校生の皆さんが町政・議会への関心を高めていただき、目指す将来の参考になれば幸いです。今後も町議会や町政に興味を持ってもらえるよう、積極的に協力をしてまいります。

高校生の感想をいただきました！

豊富町を今よりも良いものにするために尽力されていて、私はとても勉強になりました。

始まる時はほんわかしていたが、始まったら厳格になった。難しい話ばかりだったが、タメになった。

しっかり町のことを考えていると思った。



先生の感想もいただきました！

民主主義の現場を見ることで、生徒の学習にリアリティが生まれ、大変良かったと思っております。高校生に直接関わる議題もあり、勉強になりました。18歳選挙権も導入されたため、若い世代への議員さんからのアプローチもぜひお願いします。



質問

佐々木 誠 議員  
問 第5期豊富町障がい福祉計画に沿ったグループホームの増設を！

答 計画を踏まえて将来を見通した需要調査し検討したい。

当町の障がい者が共同生活するグループホームはサロベツマイハートが運営するドリームスポーツⅠ・Ⅱがあり、ほぼ満室で運営されております。しかし、通所されている障がい者や同居されているご家族の皆様が次第に高齢化しており、自分たち亡き後、この子たちはどうなるかと大変憂慮されております。

マイハートが行った利用者への調査では、将来13名の方が利用を希望しており、高齢化が進むとグループホームの数が足りなくなりそうです。そのため、町としてもグループホームの需要を調査し、将来に備える必要があると思います。第5期豊富町障がい福祉計画によると、女子グループホームの新設・親亡き後の安心した地域生活の実現・重度の障がいがある方に対応したグループホームの運営などが記載されております。グループホームの新・増設は巨額な費用をかけることなく、公営住宅の空き家を利用し、リモデルするなどして建設コストの低減を図るべきだと思います。そして障がいを持つ方と同じように居られるご家族の将来へ

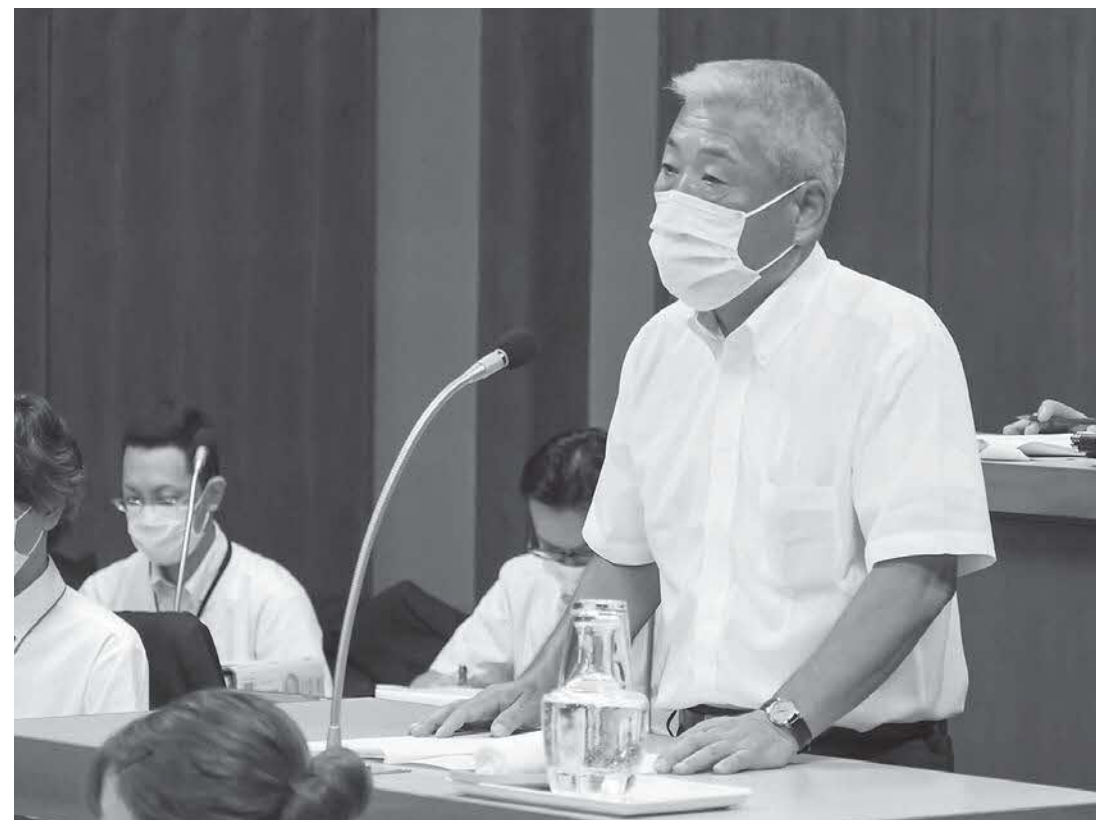
答

の不安を、少しでも解消していただきたいと考えます。

本町のグループホーム利用状況は、サロベツマイハート等が運営するグループホームの他、道内の障がい者支援施設を利用している状況でもあります。今後、本町にあるグループホームの利用状況や、本町での生活を希望されながらもやむを得ず他地域にある施設に入居されている実態もあるとお聞きしておりますので、第5期豊富町障がい者福祉計画を踏まえ、将来を見通した需要調査を行うとともに、公営住宅の空家活用等も考え合わせ、議会及び関係機関・団体等の皆様のご意見などもいただきながら、検討を行ってまいりたいと考えております。



居られるご家族の将来へ



鎌倉 和雄 議員

**問** 医療費助成を高校生までもとする考え方はないのか伺う！

**答** 新年度には間違いなく高校生の医療費助成をする。

質問

当町の医療費助成は中学生までとなっておりますが、高校生までとする考え方がないのか伺います。高校生までを対象することによって豊高の存続等も考えられると思えますので、町長の考え方を伺います。

答

現在、本町においては、中学生までの医療費の全額助成を行っております。北海道内の状況として、令和元年4月末現在で高校生までの医療費助成を行っている市町村は77市町村で、宗谷管内は5町で実施している状況です。子育て支援を推進する上でも、子どもの医療費助成は極めて重要であると考えており、高校生までの医療費助成実施に向け、執り進めてまいりたいと考えております。

があります。いつの時期に実施するのか伺います。

答

我々としては質問をいただき、しっかりと対応しなさいいけないと非常に前向きに実施する判断をしております。新年度から対応する考えでしたが、今の再質問を受け、改めて検討をさせていただきたいと思えます。

質問

補正を組み合わせることで、やれると思っておりますので、明確な時期を再度ご質問いたします。

答

行政の手続きとして条例改正をしなければ実行できません。12月定例会か臨時議会を開いていただくのは財政状況と検討しながらとなりますが、1つだけここでお約束できるのは、新年度には間違いなく、高校生の医療費助成をいたします。時期については、今後また議会に報告をさせていただきますと思います。



非常に前向きな検討をいただきました。場合によっては追加補正予算もありますが、来年の3月までになると現在傍聴に来ている方々が対象にならないこと

質問

小笠原照美 議員

**問** 豊富町としてどのような人材を求め、どのような職員像を目指して育成していくのか伺う！

**答** 地方公務員としての基本的な姿勢を持ち、社会・経済情勢の変化に適切に対応できる職員の確保とともに、職員が豊富町に愛着を持ち、能力の向上を図り、最大限能力の発揮ができるような育成に取り組んでいく。

質問

行政に対する地域からの要望は高度化・多様化しており、そのニーズを的確にとらえ適切に対応すべく地方自治体の役割は大変大きいものがあると考えております。要望、課題を効率的に解決する行政運営が求められる中で、適切な対応ができる人材が確保されているのか、不安を感じるところであります。豊富町職員定数条例における人員よりも不足しており、時間外対応、休日勤務で対応しているのが実態かと思えます。豊富町としてどのような人材を求め、どのような職員像を目指して育成していくのかお聞かせください。

また、人材が確保されたとしても職員一人ひとりの仕事に対する知識・能力の向上を図らなければ、地域の要望に応え、課題を解決することは難しいと思えます。若手職員も含め職員の早期の育成が緊急の課題と考えます。これまで人材育成でOJTも含めてどのような取組みをされ、今後どのように取り組むのか伺います。

答

課題解決に向けスピードが求めら



こちらをご覧ください！

議員の賛否

第3回定例議会

1日目

2日目



<https://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/section/gikaijimukyoku/ufvuj5000000101a-att/ufvuj500000010dp.pdf>

<https://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/section/gikaijimukyoku/ufvuj5000000101a-att/ufvuj50000002blt.pdf>

<https://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/section/gikaijimukyoku/ufvuj5000000101a-att/ufvuj50000002bmb.pdf>

### COLUMN 医療費助成が高校生までもに拡大します！

10月8日開催の第4回臨時会にて、「豊富町乳幼児等医療費助成に関する条例」の一部改正が行われました。条例改正では、医療費助成対象が中学生（満15歳に達する日）までだったのに対し、11月1日より高校生（満18歳に達する日）までに引上げとなりました。



# 気になるアノ人に聞いてみました!

豊富小学校長として  
優しく児童や地域に寄り添う

三野宮 誠一さん (52歳)

4月から豊富小学校長を務められ、開かれ信頼される学校づくりを目指し、地域環境を生かした教育活動を展開している三野宮校長にお話を聞きました。

(10月5日)

聞き手/佐々木政義 小笠原照美 水戸部正博



## —豊富町に来たきっかけを教えてください。

令和2年度当初人事にて猿払村より参りました。父親が庄内小中学校に勤めていたことがあり、学生時代から町内を訪問しておりました。稚内市内で勤め始めた頃よりスキーマの指導に携わっており、冬期間は豊富スキー場で滑ることが多くありました。

## —現在の仕事内容は?

校長を務めております。学校現場では児童生徒の学力の確実な定着や、教職員の働き方改革の推進等、多くの課題への対応を求められております。豊富町教育委員会から提示されております教育行政執行方針の実現を目指し、町職員も含めた全教職員が組織的に力を発揮できる体制づくりに努めています。

## —豊富町の魅力は?

4月の道新「小中高校生の文でつくる新聞」の欄で、豊富高校の生徒が家族への感謝を綴った投書を読みました。また、議会とよみの「高校生の声」では、豊富高校の生徒が町の将来について真剣に考えていることがわかるコメントを寄せているのを読みました。高校生がしっかりした自分の考えをもっていることに大変感銘を受け、教育行政執行方針の「子どもたちがまちに誇りをもてるような人づくり・まちづくり」が進んでい

ることを実感します。豊富高校での学習が充実していることはもちろん、そのベースとなる幼児期からの家庭教育・社会教育・学校教育を通じたそれぞれの場での子ども達への働きかけが、効果的になされているためだと思います。小学校に勤務する者として、今後も学校教育の場における保育園も含めた町の小中高校の連携を通じた児童生徒一人一人の成長に力を尽くしていきたいと考えております。

## —豊富町に必要なもの、不便なことはありますか?

休日でも小学校を開放し、幼児や小学校低学年の児童が天候や季節に左右されず、広いところで体を自由に動かすことができる場となれば、と考えております。学校職員が休日に学校の開放や安全管理をすることはできませんが、時間帯や来場者を限定しながら警備員等を配置し、保護者が同伴するのであれば、体育館は体を動かすことができるよい場所となると思います。学校での授業時間以外で多様な運動ができる場や機会を社会教育の場と併せてつくっていければよいのではないかと思います。

—三野宮校長先生、ありがとうございました!



町長から提出された予算案等は、総務産業常任委員会・予算決算常任委員会で慎重な審議が行われます。「豊富町はどうなっている? 私たちの税金はどんなコトに使われるの?」委員会では、そんな疑問を解消するため議員から町の執行部へ様々な質問が投げかけられます。実際に行われた議員の質問と町の回答を一部ご紹介します。

### 診療所

**Q** 看護師充足の考え方は?

今後の充足の考え方として、看護師になりたい方を育てることにシフトしていくべきでは?

**A** 学生への周知等を行っていききたい

看護師の就学・就業に関する奨学金や貸付金制度については町内学校へ説明をしているが、広く生徒に知れ渡っていないため、今後はきっかけ作りとして生徒全体に周知を行っていききたい。豊富町に戻ってこられる政策を考えていながら、医療に興味を持ってもらえるような仕向け方を検討していきたい。

### 有害鳥獣駆除

**Q** 広域的な近隣町村との連携を

豊富町が積極的に駆除をしても近隣から有害鳥獣が入ってくるため、広域的に近隣町村と連携をして有害鳥獣駆除に取り組まなければならないのではないか。

**A** 広域連携を主導する組織の確認をする

広域での連携となればどこかが音頭をとる必要があることから、道が主導なのか定住自立圏の枠組みで行うのか等確認していききたい。近年アライグマ等も増えてきているため、道に対しても訴えていきたい。

### ふるさと応援寄附金

**Q** 新型コロナウイルスの影響は?

今年度のふるさと応援寄附金の

ベースが非常に早く感じるが、新型コロナウイルスの影響はなかったのか。

**A** 外出自粛期間があったことから寄附額が大きく伸びている

8月末までのふるさと応援寄附金状況は前年比173%であり、前年度と比べて大きく伸びている。新型コロナウイルスの流行により、自宅で過ごされることが多かったことが要因と考えられるが、今後は年収が落ちる方が多いと想定されるため、厳しい状況が続くと思われる。





議会レポート

[参加議員 計 10 名]

- ・千葉久・大島憲昭・多々良勝
- ・鎌倉和雄・前田孝一・佐々木政義
- ・佐々木誠・小笠原照美・竹中隆浩
- ・水戸部正博

# 猿払村合葬堂を視察しました!

7月7日に猿払村合葬堂を視察しました。猿払村合葬堂は本年5月より納骨の受付を開始しており、合葬墓使用料が2万円、納骨棚に3年保管する場合には納骨棚使用料5万円で利用できるものです。合葬堂は費用が少額で済むため、身寄りのない方や親族に負担をかけたくない方等へのニーズが高まってきております。



### 感想 水戸部正博 議員

合同葬の必要性は、昨年の岩見沢市の合同葬視察の感想にも述べましたが、今回の猿払村の合葬堂は岩見沢市で見えてきたものより小規模であり、簡素化されたイメージであるため、当町にとっても実現可能な印象でした。少子高齢化、核家族化の現在においては、早期に実現すべき事業の1つと思います。

議会レポート

[参加議員 計 4 名]

- ・千葉久・多々良勝・鎌倉和雄
- ・小笠原照美

# 農村さわやか交流会に出席しました!

8月29日に農村さわやか交流会に出席しました。農村さわやか交流会は酪農家、酪農実習生及び新規就農予定者等との交流を促進し、豊富町農業の更なる発展を目指すもので、宗谷農業改良普及センター所長の講演後、焼肉を食べながら参加者と懇親を行いました。



### 感想 小笠原照美 議員

本町酪農の担い手確保対策を農林水産課、農業委員会、JA北空谷、豊富町酪農ヘルパー利用組合の連携のもと推進した結果、交流会には4組の新規就農者と1組の実習生が参加され、交流を通し有意義なひと時を共有できたことに感謝いたします。

3年間で4組の新規就農者が誕生するという実績は、非常に目覚ましいものであると認識しておりますが、一方、現状の酪農情勢をみますと、経営者の高齢化と後継者不足により、これから先も酪農家戸数が相当減少することも懸念される状況にあると考えられます。本町の酪農が更なる発展を遂げるために、農業後

継者の育成、新規就農者あるいは農業従事者の確保対策が今後の重要課題であり、技術や経営のノウハウが途切れることなく次世代へ継承されることや、新たな才能が外部から取り入れられることにより、時代に対応した新たな酪農形態が構築されるものと期待するところです。

また、それぞれ子育てをしながらの新規就農であり、酪農地域での子育て環境の再構築と整備が子ども達の将来のためにも急務であると感じたところです。最後に、当日準備をしていただいた関係職員に感謝申し上げます。



### 議会レポート

[参加議員 計6名]  
 ・千葉久・佐々木政義  
 ・佐々木誠・小笠原照美  
 ・竹中隆浩・水戸部正博



### 湯治留学移住制度って？

湯治留学移住制度は豊富町独自の取組みで、アトピー等の皮膚疾患に悩む全国の小・中・高校生を対象に、豊富温泉で湯治をしながら学校に通うことができるよう、住宅補助や入浴料等の支援をするものです。支援期間は町内の小中高校に転入した日から3年としており、現在5世帯の方が制度の利用をしています。



**伊藤さん親子 神奈川県出身 中学2年生**  
 湯治留学を始めたのは約2年前。体験留学終了後の10月からアトピーが悪化し、豊富町に再び滞在。「移住したい」との美咲さんの希望から11月より住民票を移し湯治留学をスタートしました。

湯治留学生の美咲さん(左)と母の康代さん(右)

**湯治留学までには**  
**美咲さん**…こんな悩みがありました…  
 辛い。階段の上り下りでも血が出てきてしまうので、包帯やガーゼが欠かかせなかつたです。その状態が辛くて学校にも行けず、勉強についていけないのもストレスでした。

**湯治の効果は？**  
**美咲さん**…湯治留学をはじめてから、どんどん良くなりました。季節の変わり目によって波があるけど、右肩上がりで良い方向に向かってます。

**康代さん**…最悪の状態で豊富町に来て湯治をしているので、やっとどん底から復活している感じがします。ここに来れば治るからもう大丈夫だという安心感があります。

**豊富町にもう一声！**  
**康代さん**…コロナの関係でふれあいセンターが休みだった時には旅館でお金を払って温泉に入っているのが、負担分の援助があればいいなと思いました。また、ふれあいセンターにある個室の温泉が利用しやすくなってほしいです。あと、温泉留学や湯治で移住している人たちが町民の方に広報活動をしてほしいです。私達は余所者ですが一生懸命治そうと思って来ているので、すぐくみんな親切なのです。しかし、豊富町にきて一番に思ったのはみんなが知り合いで、あの人誰なんだろうという目で見られてしまいましたね。

**美咲さん**…防災に対する意識が低いかと思います。神奈川の学校では防災訓練を月に1回やっていましたが、豊富町では半年に1回なんです。



**山口さん親子 埼玉県出身 中学1年生**  
 豊富温泉で2週間湯治をした際、何をしても効かなかったアトピーが快方に向かったことや、翔平さんから「もう帰りたくない」との言葉があったことから湯治留学を決心。小学5年生から湯治留学をスタートしました。

湯治留学生の翔平さん(左)と母の弘美さん(右)

**湯治留学までには**  
**弘美さん**…処方された薬をつけても良くならず、どんどん薬が強くなって、痒みは収まらなくて…がずっと続き、小学校にも通えなくなっていました。ネットで良いというものは検索して全部試しても結局だめでした。

**湯治の効果は？**  
**弘美さん**…来た当時は本当にガサガサで普通の状態の皮膚がなかったのが、今は随分綺麗になりましたね。地元では学校にも通えず運動も出来なかったのが、今は自転車や野球をしています。

**豊富町にもう一声！**  
**弘美さん**…車がないので、まだ大規模草地で星を観たことがないので、まだ大規模草地在るツアーがあればいいなと思います。院をしておりますが、交通手段がJRしかありません。冬はいつ止まるかわからず、帰ってこれなかったら息子を一人にさせてしまうので、交通の足に困ってまです。最後に、もっと豊富温泉をアピールしてほしいです。アトピーって本当につらいんですよ。一回来て効果を実感した方は絶対また来るのですが、初めてのときってなかなか信じられないので、豊富町の良さをたくさんの人に解っていただきたいです。

### 懇談を終えて… 佐々木誠 議員

湯治留学移住制度で本町に來られた2世帯のご家族と懇談して感じたことは、豊富温泉の効能が素晴らしいと喜ばれていることや、本町を大変気に入っていることが豊富町民としての嬉しく思いました。お子さんの治療のため一家で移住してきて大変なご苦労があるのではないかと推察しましたが、2世帯とも非常に明るいご家族で楽しく懇談ができました。



### 懇談を終えて… 竹中 隆浩 議員

広聴活動で蓬田さんと懇談して豊富町を外から見た貴重な話を聴きました。平成29年から始まった湯治留学移住制度ですが、期間は3年間のため、完治してなかったら延長してほしいことや、温泉で感染症が流行ることがあるため、皮膚科があったらいいなどの意見を聴くと、これからの課題が見えてきます。町全体で病気を理解して応える体制が必要だと思いました。





庄司さん親子 宮城県出身 高校1年生

愛貴さんは去年7月に豊富へ来られ、中学3年生のときに湯治留学をスタート。今まで様々なアトピー療法を試しても治らず、唯一快復できたのが豊富温泉だったことから湯治留学を決意しました。



湯治留学生の愛貴さん(左)と母の絵美子さん(右)

湯治留学までには

こんな悩みがありました…

絵美子さん…中学生の時はアトピーが酷く、1年半学校に通えてませんでした。寝たきりでトイレに行くくらいしか起き上がれない、トイレに行くのも体力がないので息が上がりながらで、食欲もない状態でした。

湯治の効果は？

愛貴さん…アトピーで私生活がまとまることができない状態だったので、温泉に入れて救われたという感じでした。

豊富町にもう一声！

絵美子さん…私は化学物質過敏症に近い感じで、宮城のときは排気ガス等によって頭痛やめまい等に悩まされてました。豊富町にきてからはすごく体調が良くなりましたが、柔軟剤でも症状が出てしまいました。前に住んでいた市だと「柔軟剤を控えましょう」というのを広報していたのですが、何かこちらでも啓発あればいいなと思います。

足立さん親子 静岡県出身 高校1年生

佑介さんは中学3年生のときに豊富町に体験留学で来られ、1日目で「ここに住む」と豊富町への移住を決心。体験留学が終わった後そのまま湯治留学をスタートしました。



湯治留学生の佑介さん(左)と母の貴子さん(右)

湯治留学までには

こんな悩みがありました…

貴子さん…薬飲んで注射打って入院して…を一通りやりましたが、何やってもだめで、悪化してしまいました。寝れないし、近くにある物も取れなかったんです。全身がケロイド状態でした。

湯治の効果は？

貴子さん…普通の四肢の動きができず介護状態だったのが、豊富温泉に来たら3日で自転車に乗れるようになったのにも奇跡で…。

佑介さん…豊富にきて、まず寝れたことが驚き。それまでは外に行くと風で痛くなってたのに、温泉入って3回目くらいに良くなった。

佑介さん…豊富にきて、まず寝れたことが驚き。それまでは外に行くと風で痛くなってたのに、温泉入って3回目くらいに良くなった。

豊富町にもう一声！

貴子さん…豊富町に塾がないですよ。今はオンラインで学べるものもありますが、塾に行つてできる子もいると思うのであればいいなと思います。

**COLUMN** 化学物質過敏症を広報させてください！

化学物質過敏症は微量の化学物質に反応し、精神・身体的な症状を示す病態の存在が指摘されており、この症状によって困っている方がおられます。しかし、この病態や発症のメカニズムは未解明な部分が多く、臨床検査方法や診断基準が確立されていないのが現状です。

主な症状

化学物質過敏症として報告されている症状は多彩であり、結膜炎、鼻炎、咽頭炎、皮膚炎、気管支炎、喘息、動悸、不整脈、胃腸症状、異常発汗、不眠、不安、うつ状態、記憶困難、集中困難、価値観や認識の変化、痙攣、頭痛、発熱、疲労感等が同時に若しくは交互に出現するとされています。

※「化学物質過敏症」と思われる症状の場合でも、他の中毒やアレルギーといった疾病であることがありますので、最寄りの医療機関の内科、アレルギー科、小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科等の各症状に応じた専門医へまずご相談ください。



化学物質過敏症へご理解とご協力をお願いします

柔軟剤や抗菌消臭剤、農薬・除草剤などに含まれる化学物質が原因となり、頭痛や倦怠感等を誘発することがあります。使用の際は、周りの方へご配慮いただきますようお願いいたします。

厚生労働省：化学物質安全対策室のホームページ  
<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/seikatu/kagaku/index.html>

蓬田さん親子 長野県出身 小学4年生

脱ステロイドを考えた時に豊富温泉を知り効果を実感。その後、何回も湯治へ訪れていたこともあり、思い切って湯治留学を決心。翠さんが小学4年生のときに湯治留学をスタートしました。



湯治留学生の翠さん(右)と父の裕一さん(真ん中)、母の貴子さん(左)

湯治留学までには

こんな悩みがありました…

貴子さん…娘のアトピーがなかなか治らない状態で、長期休みの度に豊富温泉に何度も湯治に来ていました。豊富へ来ると症状が落ち着きますが、地元に戻ると症状が酷くなることの繰り返しでした。

湯治の効果は？

貴子さん…一番最初に来た時からすぐに症状が良くなりました。かゆみで全然眠れなかったのが、やっと眠れるようになったんです。ふれあいセンターのスタッフの皆さんも親切で、他の湯治で来られている仲間もつらい気持ちをすぐに理解してくれて精神的にも救われました。

豊富町にもう一声！

裕一さん…湯治留学制度の期限が3年となっているので、治りきっていなかったら延長してもらえればいいなと思います。貴子さん…温泉でもても症状が良くなりましたが、いざという時の皮膚科の先生がいればいいなと思います。あと、野菜をたくさん食べられるお店など、食べ物からも健康的になれるとすごく良いのかなと思います。





## 豊富町の魅力

豊富高校2年生

越後 優太さん

私は稚内から豊富高校に入学し、毎日 JR で登校しています。そんな私が思う豊富町の魅力は、大きく分けて2つあります。1つ目はやはり自然が豊かなところです。私は静かな場所が好きで、緑や虫を眺めることが好きなので、私にとってこの環境はすごく合っています。また、町の人たちは、やさしく挨拶をしっかりとってくれる人が多いので、とても良い地域だと思います。

2つ目の魅力は、豊富牛乳です。豊富町といえば牛乳ということもあり、よくテレビに取り上げられるほど有名です。豊富町のお店「フェルム」ではソフトクリームや牛乳ラーメンなど牛乳を使ったたくさんの料理があります。ソフトクリームを実際に食べてみると、たしかにすごくコクがあってとてもおいしかったです。そのソフトクリームは北海道で一番の賞を取り、これを求めて遠くから来る人も多いそうです。

このように、豊富町にはいろいろな魅力があり、すごく良い町なので、もっともっと町の魅力が全国に広まれば良いなと思います。



## お知らせ

コロナウイルス感染症が収まるまでの間、町民の皆様が撮影した写真及びメッセージを募集しております。応募いただいた中から選考し、「議会とよとみ」の表紙とさせていただきます。

**応募資格** 豊富町在住の方

**募集内容** 風景・人物問わず豊富町で撮影したもの。**豊富町を元気にする**写真や100文字以内のメッセージを募集します。笑顔になれる子どもの写真や心癒される風景の写真をお待ちしております！サイズはできるだけ大きく、ファイルはJPG形式でお願いします。

**募集期間** 随時募集

**応募方法** 下記アドレスにて、件名「議会とよとみの表紙写真」と書き、本文にメッセージと連絡先(電話番号、氏名、住所)を記入の上、写真を送付ください。

[gikaijimukyoku@town.toyotomi.hokkaido.jp](mailto:gikaijimukyoku@town.toyotomi.hokkaido.jp)

## 表紙撮影者メッセージ

▶豊富に引っ越して1年が経ちました。大自然がすぐ間近にある豊富町。この1年ため息が出る程素晴らしい景色に沢山出会わせてくれました。厳しい冬がもうすぐそこまで来ています。この冬はどんな景色が見られるかな。

次回定例会は

12月です

(12月中旬開催予定)

議会を傍聴してみませんか



議員は議場でどんな発言をしているか、どんなまちづくりを考えているのか、今後の町の方向性を直接聞くことができるいい機会です。ぜひ、お越しください。

豊富町議会広報誌  
議会とよとみ 第233号

発行日/令和2年11月12日

発行責任者/議長 千葉 久

編集/広報広聴常任委員会

【豊富町議会事務局】

〒098-4110 北海道天塩郡豊富町大通6丁目

TEL 0162-82-1001 FAX 0162-82-2806